

特 253

187

昭和十一年三月

愛國婦人會發展の概況

愛國婦人會本部

(以印刷代磨寫)

34

8



\* 0038768000 \*

0038768-000

特 253-187

愛國婦人會發展の概況

愛國婦人會本部

昭和 1 1

AGH

特253  
187

三  
十  
三  
三  
三

大  
學  
館  
藏  
書  
之  
目  
録

大  
學  
館  
藏  
書  
之  
目  
録

(187)

## 愛國婦人會發展の概況

本會の主唱者奥村五百子女史が、明治三十三年北清事變に際し、現地に於て、具さに皇軍の勞苦を觀察し、出征將兵をして後顧の憂なからしめんが爲に、戦死者遺族及び傷痍軍人救護の急務なる所以を大聲疾呼し、近衛篤磨公其他朝野の絶大なる援助を得、明治三十四年三月本會を創立せられてより、本年は恰も三十五周年に相當するのであります。

本會は、明治三十六年二月 閑院宮載仁親王妃智恵子殿下を 總裁に奉戴し、同年十二月、各縣支部幹事長（地方長官夫人）を支部長と改め、顧問（地方長官）を置き、明治三十八年三月、本會の組織を改めて社團法人と致しました。又同年六月、上海其の他に本會海外委員部（委員部現在六ヶ所あり）を設け、翌七月臺灣支部を設置し、次で明治三十九年一月、韓國委員本部を創設し、明治四十三年、韓國併合の結果該委員本部を朝鮮本部と改稱致しました。



久しい間、本會の爲に、東西御賢勞を賜はりました。總裁 閑院宮妃殿下には、大正十五年四月、御勞の爲に御辭任仰出され、御後任として 現總裁 東伏見宮故依仁親王妃周子殿下を推戴致したのであります。昭和八年三月には、滿州本部規則を制定して、滿洲に始めて本會を設置し、同年五月、臺灣支部を臺灣本部と改め、又本年一月に至り、南洋群島支部規則を制定し、目下、南洋群島に、本會を設置すべく工作中であります。

## (二)

奥村會祖は、平生、婦人報國の大志を懷き、國家の興隆と、社會福祉の増進とは、婦人の力に俟つところ最も大なることを深く信じ、之が信念の體現に一生を捧げられました。

我が愛國婦人會が、卒先、軍事救護の實を擧ぐる事に依り、皇國軍人をして後顧の憂なからしめんとする趣旨も、此の婦人報國の大精神の現はれであります。

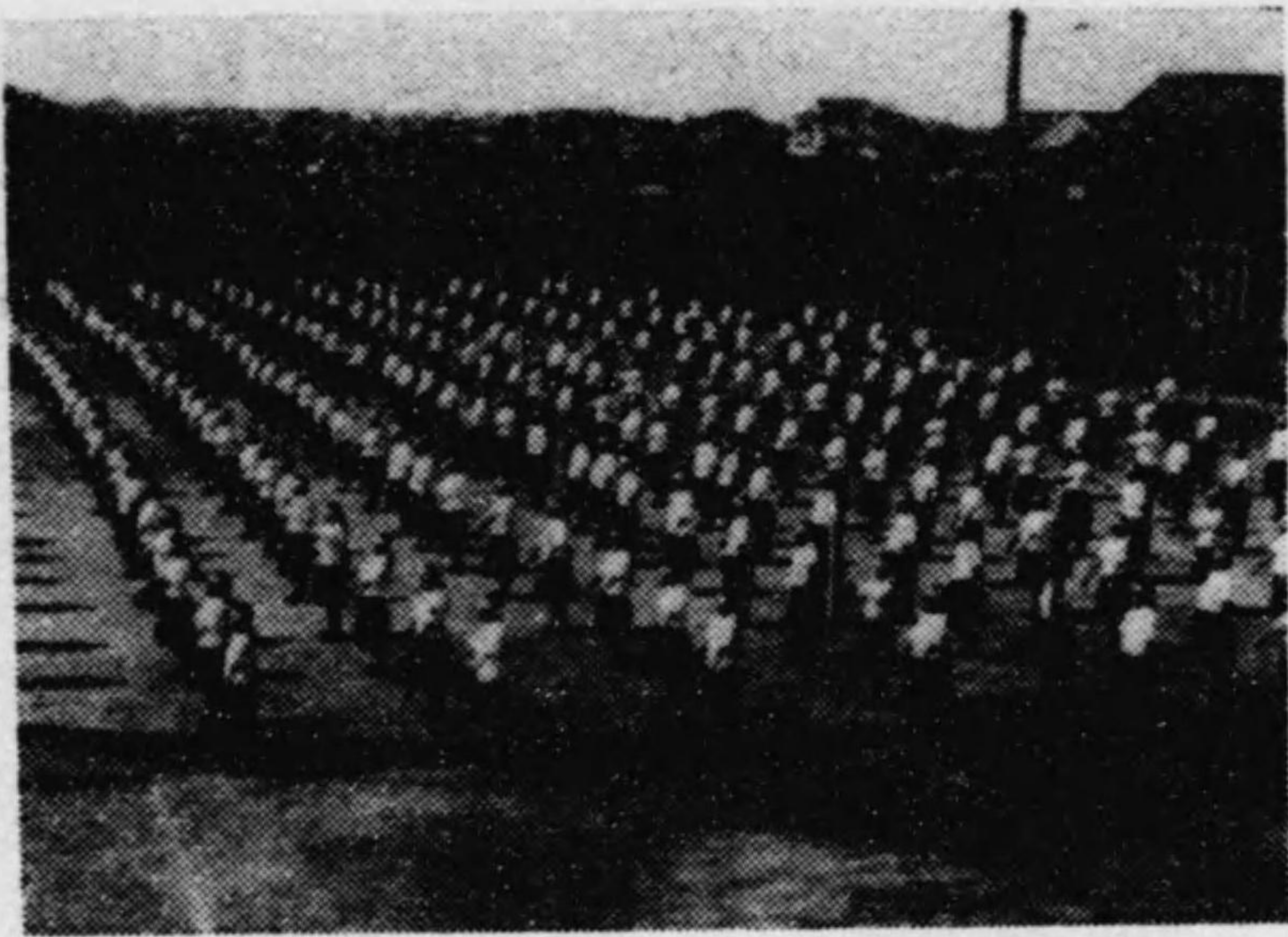
けれども、世運の推移と、時潮の變遷とは、本會の事業がしかく、單り、軍事救護事業のみに限局せらるゝことを許さざるに至りました。故に大正六年に至り、定款を改正し、本會は、時代の要求に基づく社會的諸施設をも行ひ得るの途を開いたのであります。

次で、昭和七年三月、本會は、更に機構上に一大更革を加ふるに至りました。蓋し、從來の規則に依れば、本會の事業は主として、本部及び支部のみが之を行ひ、個々の會員に至つては、之に與かる機會を有しなかつたのであります。是に於て、本會は新に、全國市區町村（朝鮮、臺灣、其の他に於ては各之に準する地域）に分會を設置し、之を單位として、事業及び經濟能力を賦與し、又分會の下に、分區及び班を設け、斯くて、會員個々の活動を促し、軍事後援事業は固より、各種社會的事業乃至運動、愛國精神の涵養、公民訓練、齊家並に家庭經濟の合理化、會員各自の修養、娛樂の向上其他婦人報國の精神に合致する限り、何にてもあれ、婦人に相應はしい事を行ひ得るやうに組織を革めたのであります。本會が、皇室を中心として、單り會員のみならず、廣く全國婦人の力を結束し、以て非常時局に對處せんが爲、昭和七年以來、婦人報國運動を開始するに至つたのも、畢竟之が趣旨を擴充したものに外なりません。

昭和八年十一月七日、畏くも、總裁殿下より全國分會に賜はりました 御諭旨は、實に時代の必要に基づく本會の使命を最も明瞭に御示しになつたものと拜されるのであります。

## (三)

晩近に於ける本會の概況を大觀して、先づ第一に喜悅に堪えない事は、會員數の大増  
加であります。本會々員數は奥村會祖永眠の年(明治四十年)に於て七十萬を算し、爾後



愛國女子團發團式に於ける團員の體操

年々若干づゝを増加し、現 總裁殿下推戴の際(大正十三年四月)には百二十九萬、昭和六年には、約百五十萬人と註せられて居りました。それが昭和七・八年の二年間に新に約五十萬人の増加を見、更に昭和九・十二年間に約六十五萬人を増加し、昭和七年以來の新募集會員數、實に一百十五萬餘人を算するに至つたのであります。殖える方は概ね精確であります。死亡、轉居先不明及び會費不納に基く減は、精確を期し得ない場合が多いのであります。しかし、大體に於て現在會員數は、増減を差引き、約二百四十萬人位と見て大差ないであります。とまれ、新會員の増加が此の如く多數に上つた事は、洵に慶賀に堪えませぬ。

皇室を中心とする全國婦人の結束！ 此の見地からしますれば、本會々員數が、未だ約二百四十萬にしか達しない事は、如何にも物足らない感が致します。尤も、此の外に賛成員、準會員各府縣支部の愛國子女團々員(地方に依つては、全縣下の高女生がすべて團員になつて居るところもあります)を合計すれば會員の外に約五萬人位は、「愛婦」會員に準ずべきものがあります。

せめて「一千萬人會員」！ ……内地及び海外居住の我が國婦人合計四千五百萬人…本會が手近な目標として獲得に努力しつゝあるものは差當り此の數字であります。

(四)

四年間(自昭和七年至同十年)に百十五萬人以上の會員を獲得致しました事は、兎も角も、會としての大飛躍と云ひ得ませう。けれども、此の會員の大増加は、仔細に觀來る時、主として畏くも 總裁殿下御精勵の賜と申上げ奉らねばなりません。殿下御足蹟の印する處、

台臨に先ち而して又 台臨後に於ける會員數の異常な増加は、明かに此の事實を立證いたします。大正十三年四月現 總裁殿下推戴後、地方本部又は支部總會及有功章御親授の爲 殿下の 台臨を賜つた地方は、實に左の如くであります。



衆會るけ於に會總部本

- 大正十四年 京都府。
- 昭和三年 大阪府。
- 同 四年 静岡縣、臺灣。
- 同 五年 岩手縣。
- 同 六年 京都府。
- 同 七年 福岡縣、佐賀縣、大阪府、兵庫縣、福井縣、石川縣。
- 同 八年 福岡縣、長崎縣、鹿兒島縣、三重縣、島根縣、岐阜縣、宮城縣、青森縣、函館、北海

道、樺太。

- 同 九年 福岡縣、熊本縣、大分縣、岡山縣、大阪府、滋賀縣、愛知縣、栃木縣、秋田縣、福島縣、新潟縣、朝鮮、京城府、忠清南道、全羅南道、平安南道、平安北道、咸鏡南道、慶尙北道、慶尙南道。
- 同 十年 山梨縣、山口縣、静岡縣、京都府。

(五)

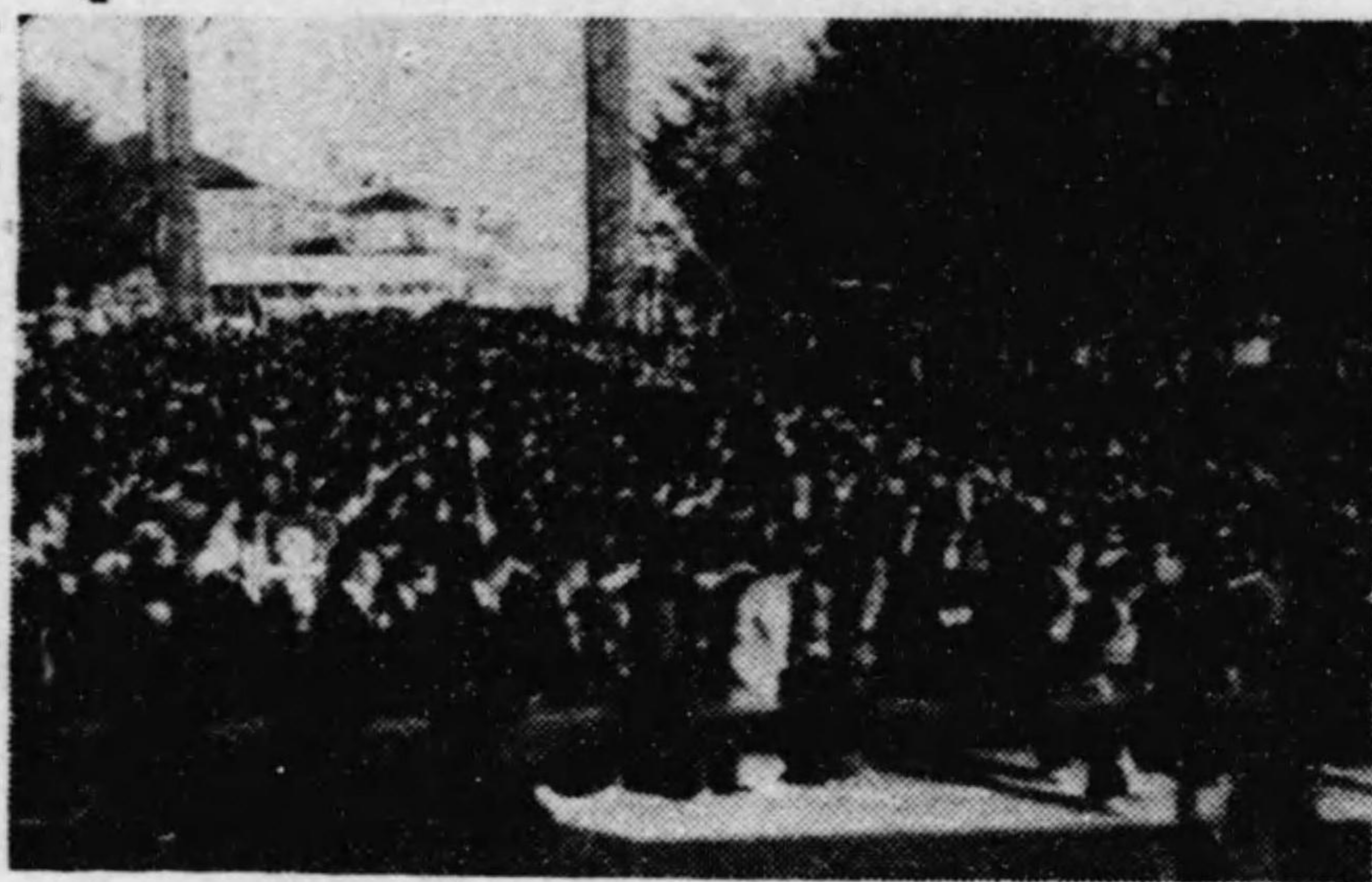
分會組織の整備と、漸次芽立ちつゝある分會の活動も亦、會員數の増加に可なりの影響を與へて居る事は、是れ亦争ふべからざる事實であります。其れは、支部總會等の開催と切り離して見ても、全國各本支部に於ける新會員の増加が、毎月平均計一萬人乃至二萬人位づゝの數字になつて現はれて居る事實に徴しても明かであります。

分會の組織は各支部共今や、大部分すでに其の組織を了り、未だ組織を見るに至らな

い支部も、近く其の完成を見るであります。けれども、只分會が組織されたと云ふのみでは意味がありません。(全國市區町村中、既に分會の結成を了したるもの、現在約八割) 蓋し組織は、活動への一行程に過ぎないからであります。

### 分會の組

織及び其の活動に關し、本部は引續き、懸命に之が督勵に努めて居ります。



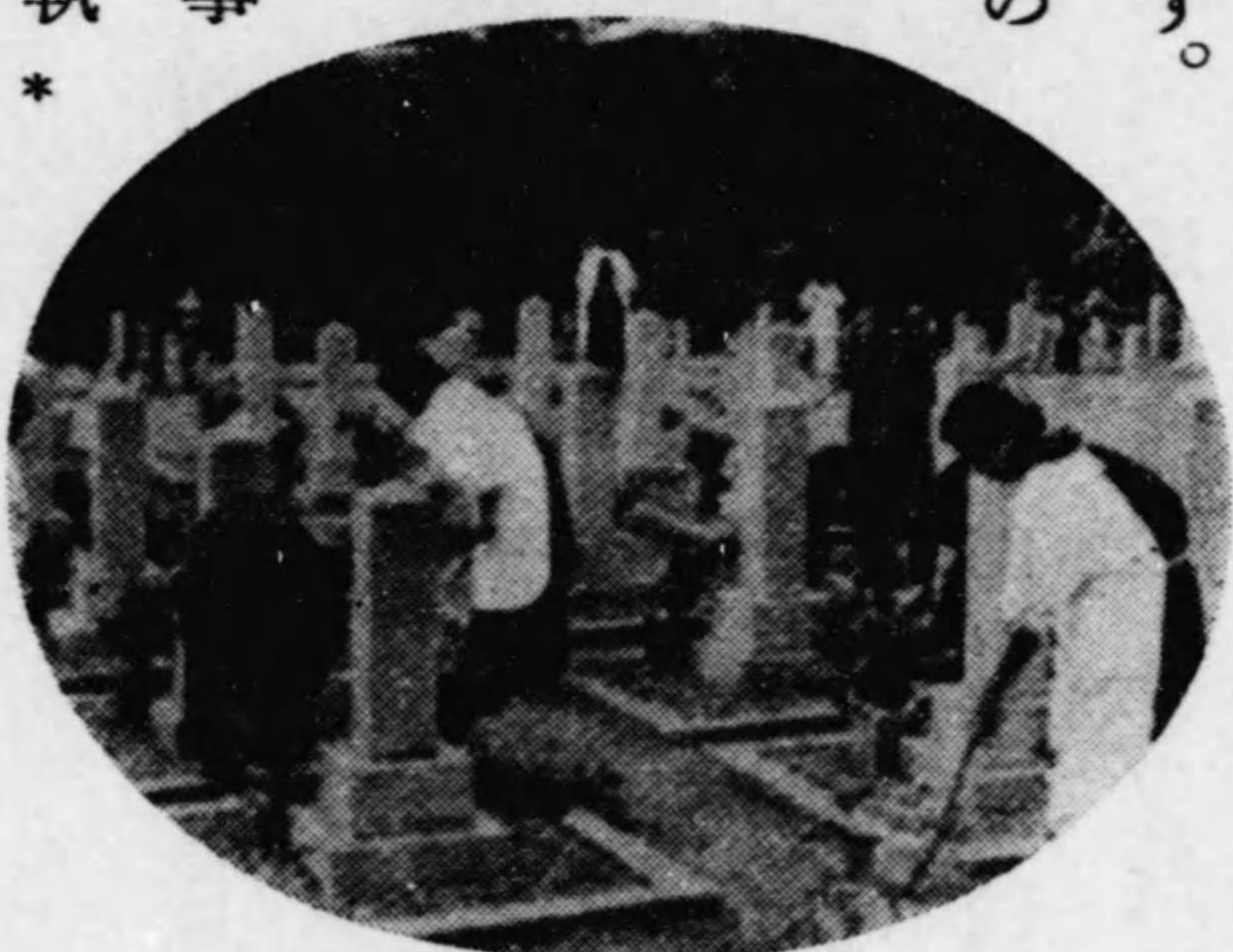
東京市聯合分會發會式

府下、郡部各分會の結成も、最近ほど完成を見るに至りました。

\* 就中、本部(東京部)が一昨九年以來、特に眞剣な努力を續けつゝある事項は、東京市内三十區分會の結成及び其の活動上の督勵に就いてあります。其の結果、一昨年十一月十二日には、靖國神社々頭に於て、總裁殿下 台臨の下に東京市聯合分會發會式及び各分會御親閱式が舉行され、爾來、漸次各分會の活動には、注目すべきものがあるに至つて居ります。尙東京

分會中全國的に見て、模範とすべく、或は又將來分會活動の針路を示すに足ると認め得るものは、各地方に**優良分會**として、今や漸く芽立ちつゝあります。本會は是等の分會に對し、極力助成の方法を講じて居ります。

中には、未だ我等の視野に入つて來ないものも少なくないと思ひます。(前者に就いては、一昨年十一月本部で開催いたしました「各地方本支部、講師、指導員講習及懇談會」席上に於ける講演筆記「講演集」及び「分會經營資料」等に依つて、其の片鱗を窺ふ事が出來ます。本會の將來を念とする人々に執動向を示すに足るものと謂つてよいと思ひます。)



東京市聯合分會の役員

\* つて是等の資料は、必讀不可缺の貴重のものであり、且つ是等の資料は、本會分會今後の

けれども、「愛婦」が眞に其の大使命を完うし、其の工作を完成するに至るまでには、



會員の共同開墾

尙幾多機構の修正及び細部工作の修繕を必要とするでありませう。時潮は流轉して須臾も止みません。「愛婦」は之に順應すべく、僅に輓近立ち上つたに過ぎません。従て、我等が懸命の工作は之から始まるのであると申さなければなりません。

(六)

近年、別けても、一兩年は、本部としても、地方本支部としても、可なり眞剣な活動をつづけた年でありました。即ち、總會開催の各本支部は固より、他の本支部に於ても、軍事其他常例に屬する幾多行事の外、或は防空演習へ参加の爲に、或は近年稀なる各地水害、旱害、颱風の爲の災害及び冷害に對する救助の爲に、懸命の努力をつづけました。防空演習への参加には、或は雨を衝き、或は夜を徹

し、防空作業の一部乃至後方の勤務を會員が懸命に擔當し、如實に非常時婦人の意氣を示したのであります。災害に對する救援の爲の金品募集

に就いての眞剣な奉仕はもとよりであります。

支部管内の被害者の爲に、支部長を始め役員

及び會員が一齊に立ち上り、衣食其の他の配給の爲

と違つた風景の一つでありました。



會員の防空演習参加

に、將た其の準備の爲に、あらゆる艱苦を侵し、果ては、隊伍を分ち、トラツクに塔乗してまでも、周く管内被災民救助の爲に、涙ぐましい活動振りを示した支部もありました。是等の事實に直面する時、我等は、燃ゆる如き會員奉公の熱誠……婦人報國の丹心に對し、心からなる敬虔の念を以て感謝の辭を捧げ

ざるを得ません。水雷艇友鶴遭難者遺族の救助の爲に、會員が立ち上つた事も、稍々常



一昨年東北冷害の爲に、本會が東京大阪兩朝日新聞社及び日本基督教婦人矯風會、眞宗婦人會と合同して義金の募集に立ち上り、特に集まつた義金の一部を「愛婦」が委託を受けて、子女身賣防止及び就業の爲の旅費並に支度金の貸與に使用することになつた事は、意義深い事であると思ひます。そして、之によつて救はれた子女の數は、昨年一年間丈けて、**一千三十餘名に上つて居ります**。尙同上委託金の内を以て、子女救濟本來の目的を貫徹する爲、左記十二ヶ所の授産場を開設いたしました。是等の授産場に於て作業に従事した女子の延人員は、約十萬人近くに達して居ります。

- 岩手縣支部管下 三 個 所
- 青森縣支部管下 二 個 所
- 山形縣支部管下 二 個 所

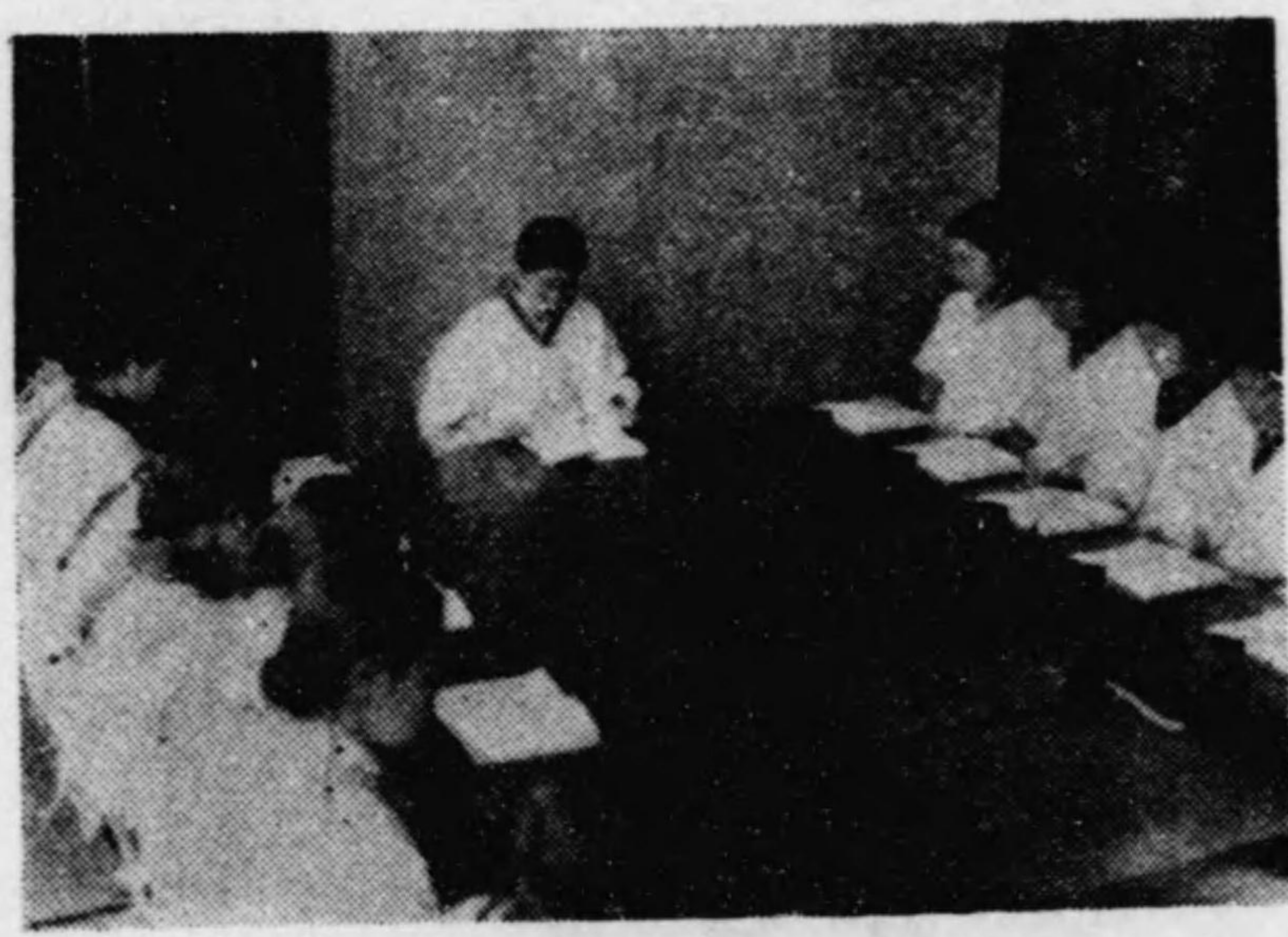
- 宮城縣支部管下 二 個 所
- 福島縣支部管下 二 個 所
- 秋田縣支部管下 一 個 所

又本部隣保館が、他の社會事業團體に卒先し、一道、一府、十六縣と聯絡を執り、是等の地方から上京する、女中就職希望者に對し、一昨年女中養成事業(女中學校)に始めて指



授産場作業状況

を染めて成功し、(開設以來の養成人員既に**一千名を超過す**)更に昨年本會後援の下に「家庭勤勞婦人共濟會」の成立を見、市内に於ける幾萬の女中の爲に互助共濟の機關を作つたことは、新なる事業として、一般社會事業家の



女中養成所(義講)

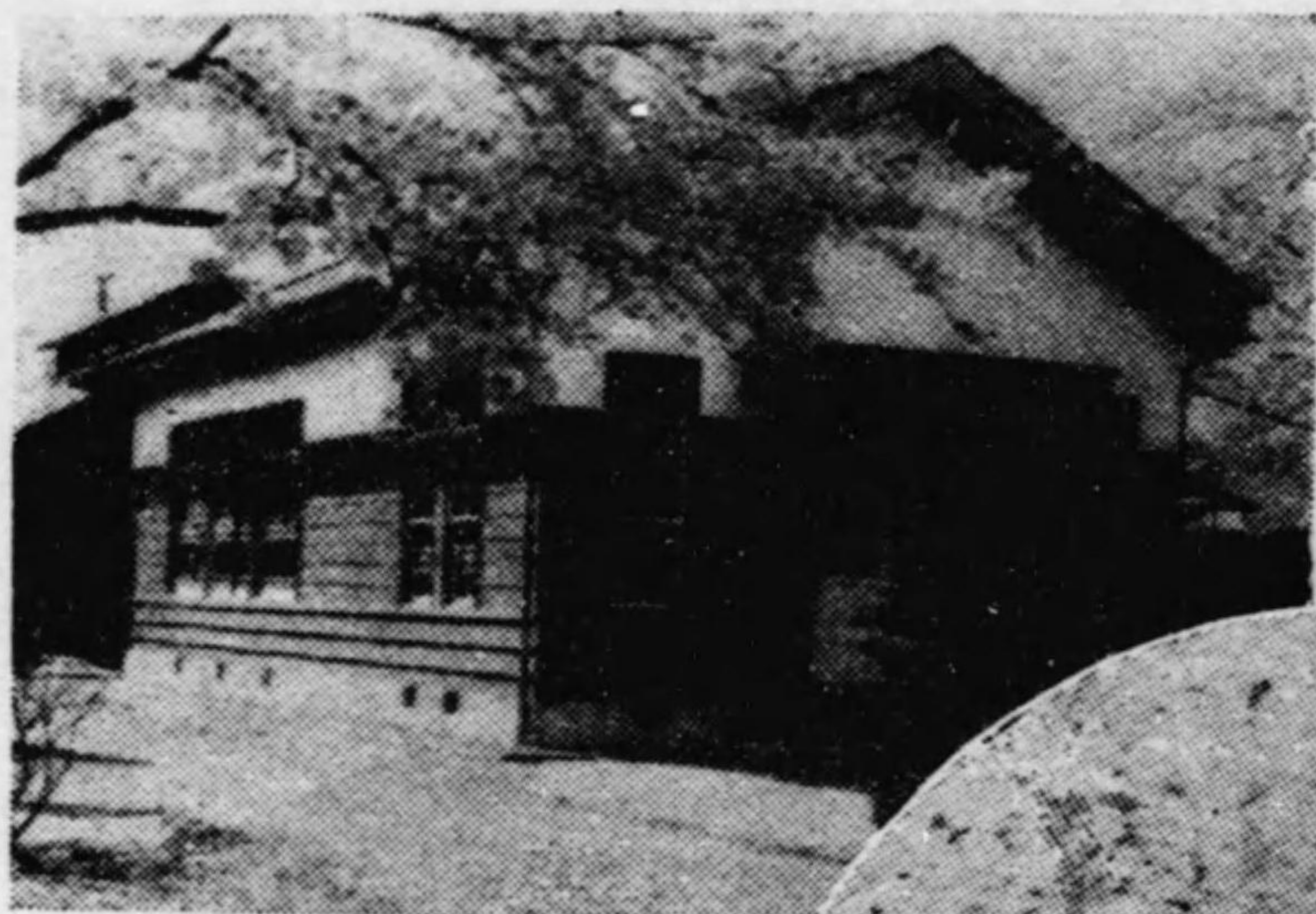
注目を惹きつゝあります。

(一八)

更に軍事救護に關する件に就いては、創立以來、其の最善を盡して居りますが、分會の整備に伴ひ、今後益此事業を深く掘り下げて行く事が出來ると信じて居ります。尙、最近に於て特記すべきは、昨年に於ける滿洲奧地及び朝鮮北境への皇軍慰問使派遣の件であります。前者に在つては本部主催に係る東京外十一支部代表十三名の一行(内に、宮脇新潟縣知事夫人あり)が皇軍慰問の爲に多大の艱苦を忍んで遠く露滿國境に迄進出し、露國兵をして心膽を寒からしめ、後者に在つては、本部代表龜井(眞洲子)理事及び今井田朝鮮本部長の一行が、鴨綠江沿岸地方に苦闘しつゝある皇軍及び警察官の勞を犒つたのであります。尙、此の外にも在滿皇軍慰問使を派遣いたしましたる支部は、年々數ヶ所宛に及んで居ります。

日支事變發生以來に於

(下) 慰問袋作製狀況  
(左) 支部獻納の術戎病院娛樂堂



ける、本會々員の熱烈なる意氣と活動とは、日露役當時に比し、更に一段を加へたと一般に認められて居りますが、日支事變以來、全國民が戦地へ贈つた慰問袋總數五百數十萬個の内、其の四分の一強は、實に本會々員の手に依つて集められたものであります。特に、昨年に於ける慰問袋總數の約九割弱は本會々員の手に懸つたものであります。

更に軍用兵器其の他を獻納した地方本支部は、

- 朝鮮 臺灣 北海道 大阪 兵庫
- 新潟 群馬 静岡 岐阜 秋田

鳥取 岡山  
高知 佐賀  
熊本 鹿兒島\*

\*の十六本支部に及び、又衛成病院娛樂室又は日光浴室を  
献納した支部は

京都 三重 静岡 岐阜  
宮城 福島 富山

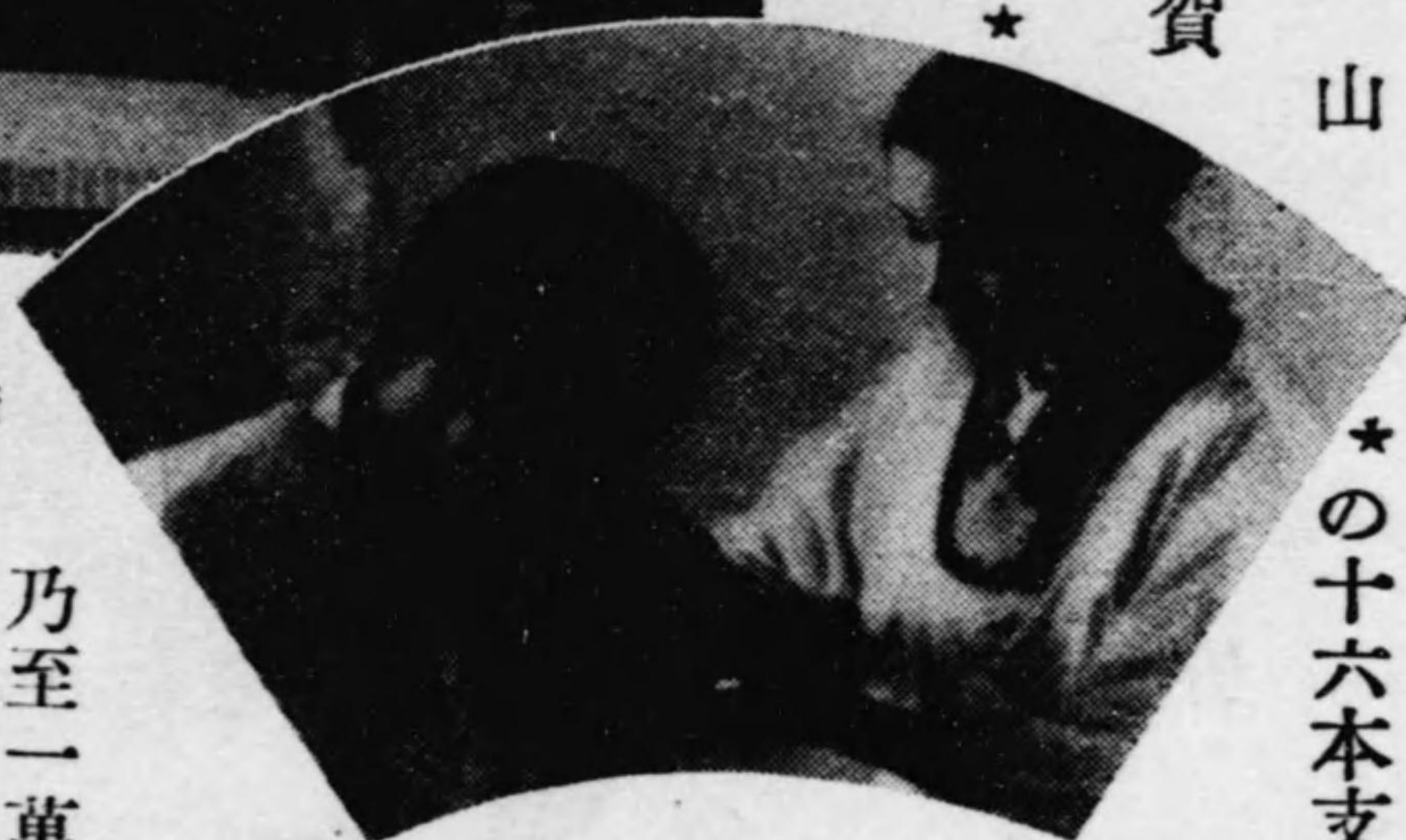
の七支部を數へ、その他各種設備費の献納に  
至つては、各支部に亘り、相當多額に達して  
居ります。

右の内娛樂室の經費は、各大略七、八千圓  
乃至一萬數千圓に上り、設備を加ふれば中には二萬圓  
近くに達するものもあります。而して、右の資金は多く  
は十錢乃至五十錢以下の零碎な資金を會員が、縣内婦人  
から集めたるものであります。



(上)支部献納の  
衛成病院日光浴室

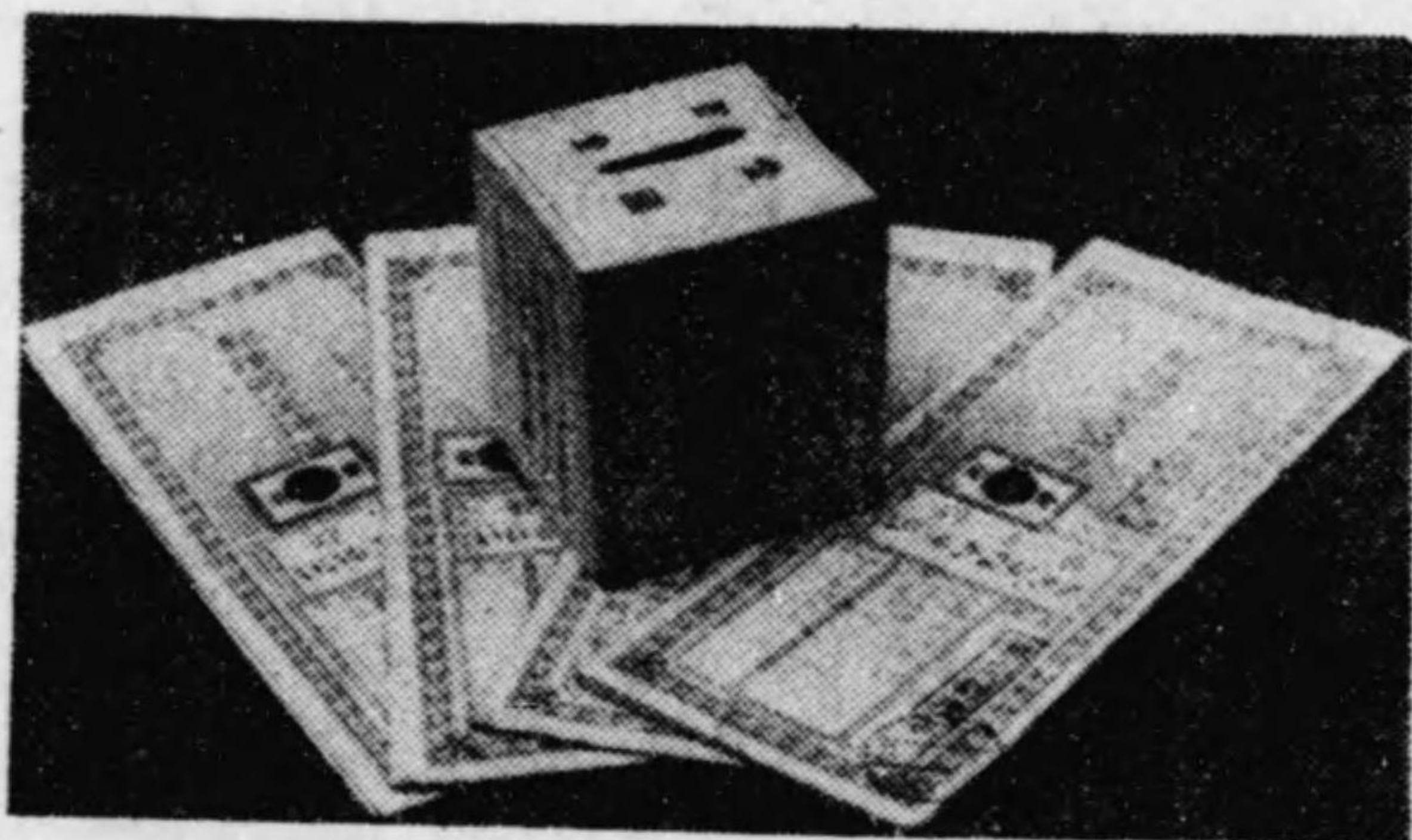
(下) 傷病軍人病床の接待



尙縣下から周く、婦人の拔毛、すき毛を集め、之を賣却して得たる資金を以て、鐵兜  
等を献納したる支部、或は石鹼、マッチ其の他日用品の販賣により得たる純益を以て、  
兵器、オートバイ、軍用犬其の他軍隊慰問の資金に充てた支部も、  
少くありません。

(九)

國體觀念を明徴にし、國民をして強固なる團結の中心を、日  
章旗に求めしめんとする國旗運動—國旗掲揚の普及と、國旗章  
の頒布を趣旨とす—は昭和八年開始以來豫想外の好成績を收め  
十年末迄の國旗章頒布數、總計實に三百六十四萬箇に達しまし  
た。



愛國貯金

愛國貯金運動は、逐年其の効果を高めつゝありますが、昭和九年十二月末現在組合數

三百八十四、其の口數四萬九千二百十九、金額七十七萬五千七百七十九圓を算し、其の外、個人貯金の分亦多額に達して居ります。昭和十年下半年期に入るや、内務省、貯金局並各關係地方官署の多大なる後援又は協力を得て、異常なる躍進を示し、其の成績頓に舉りましたことは、非常時局に際し、誠に心強く感ぜらるゝのであります。該運動は今や官民一致の事業となり、本會が普及宣傳の爲、關係官廳、地方本、支部を通じ、全國に配付しました所のものは、マーク三十萬枚、ポスター一萬枚、貯金函四十二萬箇、リーフレット三十五萬枚、パンフレット七萬部といふ數字に達して居ります。



婦人報國祭街頭進行

三月六日の地久節に於

(一〇)

ける、奉祝婦人報國祭の行事は、本會の提唱にかゝる所にして、年一年と全国的に汎まりつゝある所でありますが、更に又昨年より本會首唱の下に、恩賜財團愛育會と共同し皇太子殿下御誕辰十二月二十三日を以て、子供を中心とする全国的祝日たらしめ、幼時より皇室尊崇の念を培養せしめ、且一般兒童、殊に不遇兒童をも参加せしめて、共に此

の日の悦びを分たしめ度いとの大運動を起したのでございます。地方本、支部に於ても、本部と歩調を一にし、夫々一般に奉祝の方法を講じました。

(一一)

其の他、農村救濟事業の一たる農村託兒所（現在本會地方本、支部又は分會にて經營又は補助せる農村託兒所は約三千個所を算します）の事や、婦人及び子供に關する保護



農村託兒所

施設の事や、婦人報國運動に關する施設（講演會五〇支部、一、二三四回、聽講者 四五四、二二一人。映畫會四九支部 一、六七四回、觀覽者、一、三三二、八一八人。座談會三九支部、四八九回、參加者、二〇、九二四人）—以上の數字は昭和十年九月現在—の事や、選舉肅正運動其の他、各種社會施設等の事に關しても、尙特筆すべき事項が少くないのでありますが、茲には省略することゝいたします。

## (一一一)

伊太利が、エチオピアと事を構ふるや、伊の文明武器に對して、宛ら裸に等しいエチオピアの姿は、あまりにも、みじめなものでありましたに拘はらず、敢然立ち上つたエ國婦人の雄々しさには、同情すべく、又敬意を表すべきものがありました。エ國皇后陛下を名譽總裁に戴く、同國愛國慈善婦人會からは、遙に我が愛國婦人會に書を寄せて、同情と援助とを求めて參りました。本會は慎重審議の末、伊との國際關係をも顧慮し、

之に對し鄭重なるメッセーヂを贈つたのであります。然るに義と情と共に、止むべきにあらずとする本會有志は、兎角して、繙帶木綿八千反を工面し、目下、エ國愛國慈善婦人會へ向け、在大阪エチオピア名譽領事を経て寄贈の手續中であります。

## (一一三)

(一)の末段にも、一寸申述べました如く、今や南洋群島にも本會支部を設置すべく着々工作中であります。同時に、同支部に於ては邦人女子及び島民女子の爲に女學校を創立する運びにならうと存じます。(同地には、尙女學校の設置なし)序ながら、之と同時に本部に於ては、目下、上海委員部に對し其の擴張、充實に關し、工作を進めつゝあることを申添へて置きます。

## (一一四)

本會々員の増加及び會費納入成績の向上に伴ひ、本會決算も、次表の如く逐年膨脹いたして居ります。

(歳 出)	本 部		地方本、支部
	本	部	
昭和五年度	三二六、六六五・五三	一、五三五、七三〇・〇〇	
同 六年度	三四一、七一七・四二	一、三八二、九六一・八三	
同 七年度	三五九、四三〇・三三	二、〇〇九、四九六・三九	
同 八年度	四九一、七六九・一九	二、〇四八、〇四〇・〇一	
同 九年度	六四一、一四七・七四	二、八三七、六二〇・一八	
同 十年度	決算未了	決算未了	

尙會費納入成績は左の如くであります。

昭和五年度	四割九分
同 六年度	四割二分

同 七年度	五割五分
同 八年度	六割五分
同 九年度	七割五分
同 十年度	調 査 中

最後に本會資産状態を左に掲記致します。

六、七四一、二四七・九七〇 (昭和九年度現在資産)

内 譯

二、四九二、九八六・一〇〇	本 部 資 産
一六二、四七五・五四〇	東 京 部 資 産
四、〇八五、七八六・三三〇	地 方 本 支 部 資 産

(終)

